

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.2
Q-1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 界壁遮音性能		3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境		2.5	0.35	2.0	1.00	2.3
2.1 室温制御		4.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	0.60	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性	マルチエアコン方式を採用し個別エアコンを設けゾーン別制御を行っている。	5.0	0.50	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.8	0.25	3.0	1.00	2.8
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	1.00	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		2.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.1	0.25	4.0	1.00	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学物質汚染	告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面に使	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 有害気体対策		-	-	-	-	
3 ばいじん等		-	-	-	-	
4 レジデュアル対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
4 総気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		5.0	-	-	-	
2 喫煙の制御	建物内全面禁煙としている。	5.0	1.00	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.0	0.40	4.4	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔	塩ビ配管等対応年数の高い材料を使用している。	4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	上水、井水2系統の給水設備とし各ユニットに系統バルブを設けてい	5.0	0.20	-	-	
3 電気設備	自家発電設備で防災負荷及び保安用としてポンプ、EVIに対応してい	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	光ケーブル、PHSにより通信設備の多様化を行っている。	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.8	0.29	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			2.4	0.31	2.4	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑地を設け周辺の自然やまちなみをバランス良く調和させている。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建築物の熱負荷抑制		断熱材、庇(バルコニー)の採用により熱負荷の低減を図っている。	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			2.3	0.30	-	-	2.3
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源確保			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ、自動水栓、節水型便器の採用により節水を行っている。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		コンクリート部分に高炉セメントを使用している。	4.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		化学物質排出把握管理促進法の対象物質非含有建材が4つ以上	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1 消火剤		水系消火設備の採用。フロ、ハロカス賞消火剤の使用は無し	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 大気汚染防止		オール電化設備の採用により汚染物質を排出しない。	5.0	0.10	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2.2 振動			3.0	0.50	-	-	
2.3 悪臭			-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		広告塔を設置しない。	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			3.0	0.30	-	-	3.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	3.7
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制		自転車置場・駐車場の確保。	5.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷		ゴミ分別回収を推進するための空間整備や設備の設置をしている。	4.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別点表		病院	-	-	-	面積按分 総合スコア
1	建築物の熱負荷抑制	3759 m ²	-	-	-	5.0
3	設備システムの 高効率化	ERRIによる評価	-	-	-	2.3
		個別設備による評価	2.3	-	-	
3.1	空調設備	1.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	4.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	3.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-